第96回日本学生選手権水泳競技大会 監督者会議 (資料)

本大会の監督者会議は、本資料の公開をもってそれに代える。参加校は事前に資料を確認しておくこと。質疑については、2020年9月30日(水)18時00分より、オンライン(Zoom)にて回答する。参加用URLは別途参加校に案内する。

※9/29 4日目予選競技終了時間・4日目決勝リレーオーダー提出締切時間を修正しました。
棄権の事前申請について追記しました。

大会に参加するにあたって

- (1) 学校所在地の自治体や学校から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当がないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ(倦怠感)息苦しさ(呼吸困難)
 - ・ 臭覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 健康チェック表を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない。必ず責任者が選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。未記入の場合、入場を断る場合がある。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) マスクを着用していない者は入館を認めないので、出発前に確認すること。
- (5) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (6) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ マッサージベッド、アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ 共有で使用するストレッチマット(個人専用は持ち込み可)
 - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具(個人専用は持ち込み可)
 - ・ 練習時のパドル・コード類

1. 競技について

- (1) 本競技会は2020年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選8レーン、決勝8レーンで、タイムスケジュール通りに実施する。
- (3) 女子800m自由形・男子1500m自由形はタイムレース決勝で行い、最終組は決勝時間に行う。それ以外の種目は予選、決勝を行う。決勝は予選の結果上位8名が出場できる。
- (4) 決勝進出において、同記録で予定人員(チーム)を超えた場合はスイムオフを行う
- (5) 補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。決勝種目は2名、リレー種目については2チームとする。
- (6) 招集は競技開始10分前から行う。本人の確認のため招集所には、ADカードを持参すること。招集所で水着の確認を行う。

- (7) 予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、1日目は14:40、2～4日目は9:40までにリゾリューションデスクに届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は、個人種目・リレー種目ともに棄権料3,000円、無断で棄権した場合は、さらに罰金3,000円を徴収する。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内に、棄権料3,000円を添えてリゾリューションデスクに届け出ること。

棄権申告後、上訴審判の裁定により棄権が受理された場合は、繰り上げ選手の決定を行う。

なお、会場に来場することができず、予選の棄権手続きができない場合は、指定の棄権届（メール提出用）を作成のうえ、指定時間までにメールで提出すること。

- (8) 競技成立後、リレー種目は自レーンから、その他の種目は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。決勝の優勝者（チーム）は自レーンから退水し、フラッシュインタビューを受けること。
- (9) 女子800m自由形・男子1500m自由形の周回通知は、水中ラップカウンターを使用しコールは行わない。
- (10) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (11) 選手紹介は、予選は組のみの紹介、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。なお、決勝に出場する選手は、氏名、学校名の通告を受けてから入場すること。
- (12) リレーオーダーは下記の時間までにリゾリューションデスクに提出すること。

	予選競技	決勝競技
10月2日（金）	9:40	14:05
10月3日（土）	9:40	14:40
10月4日（日）	9:40	14:35

- (13) 本競技会は、上訴審判団を設置する。
- (14) 本競技会は、JADAによるドーピング検査対象となるので、常にADカードを携帯すること。

2. スケジュールについて

日時	事項	開門時間	予選開始時間	予選終了時間	決勝開始時間	決勝終了時間	閉門時間
10月1日（木）	1日目	11:00	15:15	15:40	17:20	17:30	19:30
10月2日（金）	2日目	7:00	10:00	13:05	15:30	16:55	18:55
10月3日（土）	3日目	7:00	10:00	13:40	16:00	17:45	18:45
10月4日（日）	4日目	7:00	10:00	13:35	16:00	17:35	18:30

10月1日（木） 10:30からレストラン側入場口にて、代表者によるチーム受付を行う。

10月1日（木） 開会式（15:00～）

10月4日（日） 閉会式（決勝競技終了後直ちに行う）

3. プールの使用について

- (1) プールの使用時間を【別表2】のとおり指定する。
- (2) 練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。
- (3) パドル・コード類の使用は禁止する。
- (4) 練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。ただし、メインプールに限り電子ホイッスルの使用は可とする。
- (5) メインプール
- ① 水深は2.0m、水温は27.5℃に設定する。
 - ② 朝の練習は、1日目は開会式開始15分前まで、2～4日目は予選競技開始15分前までとし、種目ごとに時間指定とする。

③ 朝の練習時のメインプールのレーン指定は次のとおりとする。

1日目

0・9レーン：ダッシュレーン

※0レーンはスタート側から、9レーンは折り返し側からの一方通行とする。

1～5レーン：フリーレーン

6・7レーン：50m自由形予選出場者専用レーン

8レーン：ペースレーン（クロールスイムのみでの使用可）

2～4日目

0・1レーン：ダッシュレーン（スタート側からの一方通行とする）

2～8レーン：フリーレーン

9レーン：ペースレーン（クロールスイムのみでの使用可）

④ 昼休みの練習は、決勝競技開始15分前までとし、当日決勝出場者のみとする。

⑤ ホイッスルの使用は禁止する。電子ホイッスルの使用は可とする。

⑥ 公式スタート練習は行わない。

(6) サブプール

① 水温は27.5℃に設定する。

② 4レーンは、ダッシュレーンとする。（バックストロークレッジを設置する）

③ 7レーンは、ペースレーンとする。

④ ホイッスルの使用は禁止する。電子ホイッスルの使用は、競技中は、競技の妨げとなるので不可とする。

(7) ダイビングプール

① 競技中はダウン専用とする。

② 飛び込みは禁止する。5mフラッグがないため、泳ぐ際は注意すること。

③ クーリングダウンでの使用を目的とするので、電子ホイッスルを含めホイッスルの使用は禁止する。

4. 表彰について

(1) 表彰式は行わない。ただし、上位3名（チーム）については、優勝者のフラッシュインタビュー後、ミックスゾーンで記念写真撮影を行う。

(2) 1位～3位に、メダルならびに賞状を授与する。4位～8位に賞状を授与する。

(3) 選手権獲得校には、優勝杯ならびに賞状を、2位から8位までは賞状を授与する。

(4) 賞状の受け渡しは1階エントランス（レストラン側入場口付近）で行う。

(5) 記録証の発行受付は、リゾリューションデスクで行う。受け取り場所は、1階エントランス（レストラン側入場口付近）とする。

記録証発行時間：（予選競技）予選競技開始～予選終了後1時間

（決勝競技）決勝競技開始～決勝終了後30分

5. 館への入退館について

(1) 館への入退館時間および場所を【別表1】のとおり指定する。管理者・付添者の入館については、所属チームの出場者が入館できる時間帯に限り入館を認める。

(2) 本大会は無観客とする。ADカードを持っている選手・管理者・付添者以外は入館できない。

(3) 2～4日目の朝7時の開門時は、レストラン入口と2階入口からの分散入場とする。それ以外は、すべてレストラン入口から入場すること。（2階入口は退場専用とする）

(4) 入館前に手指のアルコール消毒、検温を受け、発熱がないことが確認できたら入館する。入館時の検温で37.5以上あった場合は、別の場所で再度検温する。それでも37.5度以上あった場合は入館できない。

(5) 健康チェック表は、次のとおり提出・返却・回収を行う。当該競技開始までに、提出の確認がとれなかった場合、失格となる場合がある。

予選競技前（選手・管理者・付添者）

- ① 健康チェック表をチームごとにまとめて提出し、提出書類と同じ順番に並んで待機しておく。
※ 2～4日目については、7時入場と7時20分入場（リレーのみ）の健康チェック表は別にして提出し、別々に待機しておくこと。
- ② 一人ずつ、点呼を受けたら、ADカードを提示し、入場する。
- ③ 健康チェック表は、予選終了後、退館時にチームの代表者が受け取って帰ること。

決勝進出チーム（選手・管理者・付添者）

- 決勝進出者およびその管理者、付添者は、退館せずに場内に留まることができる。
- ① 決勝進出チームは、予選終了後、1階選手受付にて健康チェック表の返却を受ける。
 - ② 選手、管理者、付添者の決勝前検温を行い、健康チェック表に追記の上、決勝競技開始前までに、選手受付へ提出する。
 - ③ 健康チェック表は、決勝終了後、退館時にチームの代表者が受け取って帰ること。

翌日以降競技参加者（練習で入館するもの）

- ① 健康チェック表をチームごとにまとめて提出し、提出書類と同じ順番に並んで待機しておく。
- ② 一人ずつ、点呼を受けたら、ADカードを提示し、入場する。
- ③ 健康チェック表は、退館時にチームの代表者が受け取って帰ること。

付添者 ※原則として、選手と同じ

なお、付添者については入館の都度、健康チェック表を確認する。一時退館をする場合は、必ず健康チェック表を受け取ってから退館すること。

◎ 健康チェック表の回収（提出場所：1階選手受付）

選手、管理者、付添者の最終日については、健康チェック表を回収する。

シード校、団体出場校は、チーム最終日の決勝競技開始までに責任をもってすべての健康チェック表を提出すること。

個人出場校についても各自、最終日であることを申告し、健康チェック表を提出したうえで退館すること。

- (6) 個人種目出場選手のうち、自身の個人種目がない日にリレー出場（またはその練習）のために入場を希望する場合、入場申請書（仮オーダー）を提出すること。入場できる人数は、あらかじめ届け出されている「リレー選手／リレー交代要員」を含めてフリーリレー最大5名、メドレーリレー最大6名とする。正式なリレーオーダーは指定時間までにリゾリレーションデスクに提出すること。
- (7) 入館後の退館は認めるが、その後、再入館する際は、再度手指のアルコール消毒、サーモグラフィーでの検温を受けること。その際発熱等あった場合は入館できないことがある。

6. 館の使用について

- (1) 本大会専用のADカードを使用する。館内にいる時は常時首からさげ着用すること。紛失した場合には有償（3,000円）にて再発行を受けること。ただし、付添者ADカードについては再発行を行わない。ADカードの管理は厳重に行うこと。また、入退場に際しては、必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。
- (2) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ2m以上）をとって行動すること。選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。スタンド席の着席禁止場所には座らないこと。
- (3) 場所取り入場は、行わない。場所取りは、指定の場所のみとする。
 - ① シード校は、メインプールスタンド席ならびにトレーニングルームの指定された場所を控え場所とする。
 - ② 団体出場校・個人出場校は、メインプールスタンド席ならびに通路の指定された場所を控え場所とする。
 - ③ 指定された場所以外は場所取り禁止とする。
 - ④ スタンドへの置き荷物は認めるが、荷物を置いていく場合、退館後の消毒作業のために、指定されたスタンド席のスタンドに向かって、左上の隅にまとめて置いておくこと。なお、その席の消毒は各大学の責任において行うこと。

- (4) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。したがって、室内履き、マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋のほか、必要であれば自分専用のストレッチマット等を持参すること。
- (5) マッサージベッド、アイシングバス、トレーニングバイク等の持ち込みは禁止する。会場内におけるチームや個人選手付トレーナーの活動に関して、用手接触を伴うマッサージやパートナーストレッチなどは禁止とする。運動指導や救急対応（アスレティックトレーナーの行うテーピング等）は、3密を回避した状態で、感染対策を十分に行ったうえで対応可能とする。
- (6) 泳ぐとき以外は原則として常にマスクを着用すること。（更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど）。レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない）。招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができる。レース後、ミックスゾーンを通過するまでに、マスクを着用するよう努めること。
- (7) 選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (8) 更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。また、競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (9) 更衣室での着替え時間を短縮するため、できるだけ水着を着用した状態で来場すること。状況によっては更衣室の利用人数を制限することがある。更衣は短時間で済ませるようにすること。
- (10) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (11) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。ワンパ、円陣、ハイタッチは禁止する。拍手・手拍子、スティックバルーンの使用は認めるが、メガホンの使用は禁止する。
- (12) 部旗はシード校・団体出場校について、1校1枚に限り掲出を認める。横断幕、のぼりは掲出不可とする。シード校については10月1日（木）13時までに選手受付に提出すること。団体出場校については14時以降に指定された場所に各校にて掲出すること。
- (13) 飲食については、指定場所以外で行わないこと。食事を摂取する際には個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにすること。また食事での会話は控えること。ドリンクの回し飲みはしないこと。飲みきれなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。
- (14) 選手は、自分のレース終了後、なるべく速やかに退館すること。ミーティング等は控えること。

7. その他

- (1) マネージャーミーティングを1日目は13:45（受付13:30）、2～4日目は8:45（受付8:30）より招集所（ウッドデッキ）にて行う。
- (2) 招集所には、招集をうける競技者以外は立ち入ることはできない。
- (3) 全ての競技者は競技終了後、予選・決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。
※リレー種目に出場する選手のみ、取材のリレー競技後への変更を申し出ることができる。
- (4) ミックスゾーンには、競技を終えた競技者以外は立ち入ることはできない。招集所前の立ち入り制限区域を遵守すること。
- (5) サブプールに、リザルトモニターを設置する。
- (6) 公式掲示板を、更衣室入口付近に設ける。
- (7) 会場各所にて、ドリンクサービスを受けることができる。
- (8) 会場内・アリーナ内では必ず所属大学のユニフォームを着用すること。高校名・スイミング名等の入った物の使用は固く禁ずる。
- (9) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (10) プログラム（予選スタートリスト付き）は1階の選手受付にて2,000円で販売する。決勝のスタートリストを、1階の選手受付にて無償で配布する。

- (11) 競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。
- ① SEIKO競泳リザルト速報ホームページ (<http://swim.seiko.co.jp/>)
 - ② 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)
 - ③ 学校対抗得点 速報サービス (<http://www.swim-g.net/intercollege/points/index.html>)
- (12) TV放映・映像配信について
- ① 2～4日目の予選は、YouTubeにてLIVE配信を行う。
 - ② 1日目の予選及び全日程の決勝は、テレビ朝日 CSテレ朝チャンネル2・アベマにて、生放送する。
10月1日(木) 15:00～18:00(生放送)
10月2日(金) 15:30～17:15(生放送)
10月3日(土) 16:00～18:15(生放送)
10月4日(日) 16:00～18:00(生放送)
 - ③ 10月11日(日) 25:30～27:00 テレビ朝日(地上波) GET SPORTSにて、ダイジェスト版を放送予定
- (13) 駐車場は東京辰巳国際水泳場隣接の有料駐車場100台のみ使用可能。(乗用車のみ使用可能)
バス、マイクロバスを利用する大学は送迎のみとする。会場に隣接する全ての道路は駐車禁止の為、送迎車輛の待機はできない。公共交通機関・タクシーの利用を周知徹底すること。
- (14) 2階の売店と1階のレストランが利用できる。
- (15) 本連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を遵守すること。競技会主催者・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。
- (16) 退館後2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、競技会担当者に対して、濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (17) 入場時に2日間続いて「37.5℃以上」に達するなど、「入館できない条件」に該当した場合は、医師の判断を仰ぎ関係各所に連絡をする。